

<金標準、原油価格の不確実性のリスクで現金化の動き・・・>



(出所：オアシス)

米国軍はイランの 90%を占める石油積出し港であるカーク島の軍事施設を空爆すると、イランも対岸の UEA の石油積出し港を攻撃し同港からの原油積み出しを停止している。特に終わりが見えないイラン戦争の開戦で世界の原油輸送の 2 割を占めるホルムズ海峡が事実上の閉鎖された状態であり、ゴールドマンサックスは 3 月末まで閉鎖されれば原油価格は史上最高値である 147 ドルを試す可能性が高いと述べている。そのため原油価格の上昇で不確実性が高くなり信用市場から流動性資金が逃避を始めており、大手ブラックロックが急増する解約請求を受け、引き出し制限に踏み切っている。また金融大手モルガンスタンレーもプライベートクレジットファンドの一つについて償還上限を設け、投資顧問クリフウォーターも第 1 四半期の解約を 7%に制限するなど、市場参加者は不確実性が高まった事から「キャッシュ・イズ・ベスト」の動きを強めており、金市場も同様な動きに傾くなど、目先は金標準先物でも 26000 円を割り込む動きに注意が必要に思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が下げながら、シグナルも切り上げている。RCI は短期が下げ止まるも、長期は下げている。特に日足が指数平滑移動平均線のレンジを下回る可能性が高まっており、26500 円を下回るのも時間の問題に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 11,620,000 円(2026 年 3 月 16 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 121,440 円(2026 年 3 月 16 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会が開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>